

令和2年4月
板橋区

東日本高速道路株式会社が発行するソーシャルボンドの購入について

板橋区は、基金の運用を通じた社会貢献への取組として、東日本高速道路株式会社（以下「同社」という。）が発行するソーシャルボンド（東日本高速道路株式会社第69回社債（一般担保付、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構重畳的債務引受条項付）。以下「本債券」という。）を購入しました。

「ソーシャルボンド」とは、社会的課題の解決に資するプロジェクト（ソーシャルプロジェクト）の資金調達のために発行される債券のことです。本債券は、国債資本市場協会（ICMA）が定義するソーシャルボンド原則に適合する旨のセカンドオピニオンを、格付投資情報センター（R&I）から取得しています。

本債券の発行による調達資金は、同社が担う高速道路事業に充当され、「地域活性化」、「災害対策」、「交通安全の推進」、「環境保全」などの社会貢献活動に活用されます。また、高速道路事業は、国連の策定する持続可能な開発目標（SDGs）のうち、「目標8：働きがいも経済成長も」、「目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう」、「目標11、住み続けられるまちづくりを」等の達成にも貢献します。

板橋区は、ソーシャルボンドの購入を通じてSDGsの推進に寄与することで、経済・社会・環境の三側面の総合的な発展による「東京で一番住みたくなるまち」の実現をめざしていきます。